

第3回検討委員会開催後の駅名に関する意見・要望（要旨）

1 東西線・まちづくり促進調査特別委員会等での市議会議員からの意見

- ・「やまと卸町駅」、「青葉通一番町駅」、「八木山動物公園駅」は長く感じられる。
- ・「青葉通一番町駅」は、仙石線「あおば通駅」と紛らわしく、結節駅との誤解や誤乗車の恐れがある。
- ・卸町関係団体が東西線建設に多大の貢献をされたことを考慮すべきである。
- ・「国際センター駅」については、他の事業者で同様の駅名を付しているので、仮称でもいいのではないか。なお、「仙台城址」等を用いた駅名は、駅周辺の地域性と整合しないので避けるべきである。
- ・命名が難しい駅は、検討委員会として必ずしもひとつに絞り込まなくてもいいのではないか。
- ・「仮称駅名がいい」という市民意見が多数であることを最大限考慮してほしい。

2 地域団体からの要望

(1) 仙台市大町会

- ・大町は歴史的には西公園より何倍も古く、仙台でも由緒ある地域であり、特に（仮称）西公園駅付近の西公園側は、かつては「大町頭」と称し、格式も高かった。
- ・西公園は南北に長く、これに大町を付ければ場所が特定しやすく、観光客にもわかりやすい。
- ・大町を付したバス停名（大町西公園）、交番名（大町交番）が現存し、命名の一貫性を図ること、及び出入口が大町内にできることも考慮し、「大町西公園」または「大町通り西公園」とすることを要望する。

(2) 卸町地区まちづくり協議会ほか4団体

- ・卸町地区の4団体は、まちづくり協議会を中心として、地下鉄東西線の開業を見据え、長い時間を掛けて仙台市と協働しながら、新たな交流、賑わいが生まれるような街づくりに取り組んできた。
- ・駅名については、単に駅周辺の地域名を表示することだけではなく、将来の発展に繋がる新しい街をつくるための駅名であるべきであることから、親しみやすく分かりやすい表記が望ましく、「卸町駅」または「おろしまち駅」とすることを要望する。

3 メールによる市民からの意見（3件）

(1) 「青葉通一番町」について

「青葉通一番町」は、駅名としては長く、また、変更理由が、場所を特定するためであるならば、場所が特定しにくい南北線の「広瀬通」の存在と混在し、選定に矛盾がある。

また、JR仙石線「あおば通駅」と酷似しており、乗り間違えなどの混同を避けるべきである。

(2) 「宮城野通」について

「宮城野通」は、JR仙石線「宮城野原駅」と混同し、また、仙台駅東口前なのか、宮城野原公園総合運動場前なのか、具体的な場所が特定できない。